

令和7年度 内科専攻医採用に関する当院の方針について

内科専門研修委員会

当院は日本内科学会教育基幹施設であり、1996年以降、様々な領域で活躍する内科医を育成してきました。

2018年4月より新専門医制度に基づく当院独自の内科専門医研修プログラムを作成し、当院を基幹施設とする研修を実施しています。

現在、当院には2つのプログラムコースが準備されています。

- ・内科基本コース
- ・サブスペシャリティ重点コース

詳細は九州医療センター内科専門医研修プログラムを参照ください

https://kyushu-mc.hosp.go.jp/profession/recruit_major_program.html



専門医制度の開始当初は国立病院機構(NHO)グループを中心とした内科医の育成を目指してきましたが、応募者が少数に留まっています。令和3年度以降の採用については、福岡市地域医療構想、専門医機構の医師の偏在対策と福岡県の内科医シーリング規制などの提言に考慮し、地域貢献とともに、関連大学病院内科診療科との連携を強化し、当院の専門医募集枠の維持・拡大をめざす方針としています。

令和6年度の採用枠は2名に限定されており、応募者や見学者は当院の内科専門医委員会およびサブスペシャリティ希望診療科の科長と事前面接を行って、病院幹部の協議により最終選考する予定です。

2024年より重視するポイントとして

- 1 幅広い研修経験の習得と臨床研究マインドの醸成を重視するため、当院関連の大学内科医局に所属していることが望ましい
- 2 当院内科研修中に救急部ローテーション(2か月間)に参加する 必須
- 3 非シーリング地域の連携施設(追加予定)での研修(8か月以上)が望ましい
- 4 採用年度により優先されるサブスペシャリティ所属が設定されます。
- 5 2名枠に入れない研修希望者については、九州大学、久留米大学の関連診療科および当院を連携施設とする基幹病院のプログラムに所属し、当院各診療科の診療実績に応じた定員内で1年間の研修を受けることができます。

卒後6年目以降の内科専門研修希望者は関連内科医局から各診療科の診療実績に応じた定員内の期間職員(レジデント)として採用しています。

当院を基幹施設とする連携施設

九州大学病院
 久留米大学病院
 聖マリア病院
 飯塚病院
 古賀病院 21
 国立病院機構九州がんセンター
 国立病院機構大牟田病院
 国立病院機構福岡病院
 国立病院機構別府医療センター（大分県）
 国立病院機構指宿医療センター（鹿児島県）
 松山赤十字病院（愛媛県）
 山口赤十字病院（山口県）
 県立宮崎病院（宮崎県）
 東京ベイ・浦安市川医療センター（千葉県）
 下関市立病院（山口県）
 九州労災病院
 唐津赤十字病院（佐賀県）
 浜の町病院

当院を連携施設とする内科専門医研修基幹病院

九州大学病院
 久留米大学病院
 福岡大学病院
 聖マリア病院
 飯塚病院
 福岡赤十字病院
 国立病院機構福岡東医療センター
 松山赤十字病院（愛媛県）
 山口赤十字病院（山口県）
 製鉄八幡記念病院
 浜の町病院

これまでの当院を基幹施設とする研修者の実績

年度	応募人数 /募集人数	サブ内科	1年目	2年目	3年目	備考 医局等
平成31 (定員4名)	1名	膠原病	膠原病、 救急	膠原病/代謝 内分泌	膠原病	
令和2 (定員2名)	1名	代謝内分泌	代謝内分泌 膠原病、救急	代謝内分泌	九大病院	九大三内
	1名	消化管	消化管、救急	消化管	飯塚病院	九大三内
令和3 (定員2名)	1名	腎臓	腎臓 救急	山口赤十字 病院	聖マリア病院	九大二内
	1名	循環器	聖マリア病院	循環器、 代謝内分泌	循環器	九大循環器
令和4 (定員2名)	1名	代謝内分泌	代謝内分泌 救急	九州労災病院		九大三内
	1名	腎臓	腎臓、救急	腎臓		九大二内
令和5 (定員2名)	1名	腎臓	腎臓、救急			九大二内

地域貢献率向上のため、今後連携施設の追加を予定しています
これまでの九州大学病院、久留米大学病院を基幹施設とする専攻医の当院研修者は27名
サブ：サブスペシャルティコース
NHO：国立病院機構

臨床教育研修センター 内科専門研修委員会 井上修二郎 杉森宏 富永光裕 岡田 靖

応募先、専攻医に関する問い合わせについては
臨床教育研修センター事務局 専門医担当係

〒810-8563

福岡市中央区地行浜 1 丁目 8 番地 1 号

独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター

TEL：092-852-0700（代表） FAX：092-847-8802

E-mail：602-senkoui@mail.hosp.go.jp